

発達障害・LD児等の児童・生徒の教科指導について

・テーマ:「英語理解の困難な生徒へのフォニックスを用いたアプローチ」

・教科:小学、中学生・・・英語

・参考文献・参考教材:学研 レインボー英語発音辞典



1) フォニックスとは:

フォニックスとは英語のつづりと発音の間の規則関係です。それは「つづりと音の関係を学ぶ」ということです。日本人が日本語を「国語」として時間をかけて学ぶのと同じように、アメリカ・イギリスの子どもが英語を「国語」として学んでいく・・・その初めの部分が「フォニックス」です。英語圏では幼児や子どもが読み書きの基礎としてゲームなどを利用しながらこのフォニックスを学んでいます。

例えば、日本語で言えば「あ」と書いてあればそれを「あ」と発音することを、小さい頃から学んでいきます。それが英語であれば、「a」と書いてあった場合、単語の中で「æ」と発音したり「ei」と発音したりするいくつかのケースがありますので、その「きまり」を学んでいくのです。フォニックスの知識が身についていけば、初めて見る単語でも、少なくとも「正確に読む」ことは可能です。(http://abclab.jp/phonics.html より抜粋)

2) その有効性:

文法や書き言葉から入ると発達障害を持った子どもでなくても、その単語やアルファベットをはっきりと覚え、理解していくことは困難です。そこで、フォニックスを用いると、一つの文字(例えば“b”)の付く単語ばかりを集めて絵がかかれており、目で見て、CDを耳で聞き、口で発音して覚えるという3重構造で進められるため、理解と同時に暗記が容易である利点があります。

一見すると幼児向けのようにですが、正しい発音をできるようになると、次々と進みたくなくなってきます。現在までに小6、中1、中2の生徒にフォニックスを用いています。いずれも文法中心の学校の勉強よりも、頭に入りやすい様子です。私が利用している学研の「レインボー英語発音辞典」では、まずネイティブスピーカーの発音をゆっくり聞き、その後、音楽にあわせて発音を真似る手法を使っているため、子どもを飽きさせない工夫があります。

3) 用例:

- ① レインボーの教材には CD が付いているので、それを聞きながら一緒に順番に発音します。
- ② その後、生徒だけに CD に続いて発音をしてもらい、その音が合っているかどうかを指摘。
- ③ 一通り発音したら、今度は CD なしで、指差したものを発音してもらいます。
- ④ その日習った単語とその訳を 4 線ノートに書いていき、その単語を何度か書くことを宿題とします。次回、CD を聞く前に、前回の発音を覚えているかどうかを復習してから次の発音へ進みます。

4) 考 察:

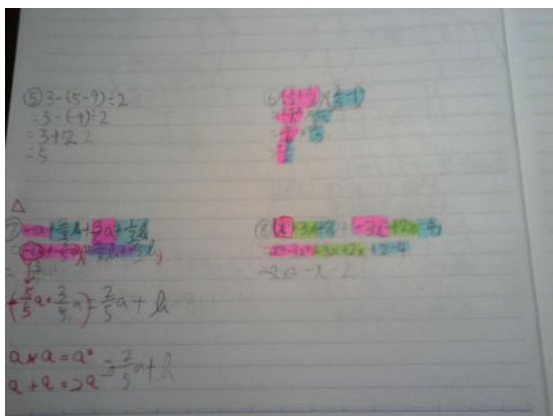
ある国語の苦手な生徒(英語は総合学習で少しだけ習った)に、このフォニックスを教えています。とてもよく覚えることができ、それが自信にもつながっている様子です。この時間をとても楽しみにしているようです。また、中学 2 年生の不登校の生徒(英語はほとんど習っていない)にも用いられていますが、始めは自信なさげに発音しつつ、教師が大きい声で発音すると、よく出来ています。

もう一人の中 1 の生徒は、発音とアルファベットが繋がらず、単語を覚えにくい傾向があるため、現在、フォニックスを用いて学習中です。

以上、まだフォニックスを始めてから 2 ヶ月ほどですが、正しい発音方を学ぶことで学年が上った時、新出単語の時、必要以上の抵抗感から守られることと予想され、特に発達に障害を持つ生徒にとっては、目で見て、耳で聞いて、口で発音するという作業が有効性を持つことと考えます。

.....

II.【蛍光ペンを用いた学習…数学方程式、英語の和訳—英文組み立て理解に有効】



これは、フォニックスとは関係ありませんが、英語、数学(方程式)の理解に苦しむ生徒にとって有効な方法だと思われる。

1)異なる色の蛍光ペンで、方程式の 2 乗、X、数字を色づけ、次の式につなげる。

例: $x^2 + x - 3 + 3x^2 - 3x + 2$ の時、 $x^2 + x - 3 + 3x^2 - 3x + 2$
 $= 4x^2 - 2x - 1$ となる。

2)英語の場合、英語、和訳の基本文を説明する際、

例: I went to the park with my brother yesterday.

(私は昨日、兄と一緒に公園に行きました。)・・・の場合、

I went to the park with my brother yesterday.

(私は昨日、兄と一緒に公園に行きました。)

⇒日本語と英語の文法の違い(後ろから英語は訳すという事を知り、並び替え問題を解く際に有効)